レジリエンスの実現のための職場活動評価手法

宮地由芽子　羽山和紀

既存の職場の安全風土評価手法をレジリエンスの視点で見直し，降雨災害時の良好対応の実態調査結果をふまえて，災害時の早期回復のための職場活動を評価する手法を開発しました。そして，得られた評価値は，概ね災害対応の結果と関連があり，妥当性があることを確認しました。

また，評価結果の提示方法による改善促進効果を確認しました。その結果，評価値を定量的に提示されるだけよりも，低評価の結果についてコメントを付加した方が改善の程度が大きいことを確認しました。

さらに，レジリエンスの「学習」を支援するため，降雨災害時の振り返りを行う「災害対応行動の評価手法」を作成しました。

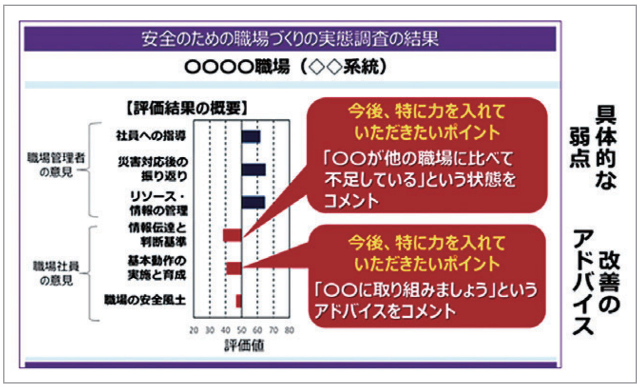

図　評価結果の提示デザイン